

## 浅口市議会 平成28年第1回 3月定例会

### 桑野議員発言と当局回答など

#### 平成28年第1回 3月定例会 - 03月08日 - 03号

平成28年3月浅口市議会第1回定例会会議録(第3)

1. 招集年月日 平成28年3月8日(8日目)

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 3月8日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 一般質問

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 一般質問

1. 出席議員 (4番欠番)

1番 福田 玄	2番 伊澤 誠
3番 佐藤 正人	5番 竹本 幸久
6番 岡邊 正継	7番 平田 襄二
8番 桑野 和夫	9番 加藤 淳二
10番 原 彰	11番 中西 美治
12番 柚木 毅	13番 藤澤 健
14番 青木 光朗	15番 大西 恒夫
17番 香取 良勝	18番 井上 邦男
19番 大西 洋平	

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名(なし)

1. 欠席議員(1名)

16番 田口 桂一郎

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

市長	栗山 康彦	副市長	田村 諭
教育長	中野 留美	企画財政部長	秋田 裕
生活環境部長	原田 尚文	健康福祉部長	高倉 道雄
産業建設部長	松田 勝久	上下水道部長	垣内 長
金光総合支所長	小西 通夫	寄島総合支所長	大室 清
教育次長	櫛田 忠	会計管理者	畑 良典

1. 出席した事務局職員

議会事務局長	畝山 善生	書記	園部 智
--------	-------	----	------

書記

小橋 史明

書記

奥原 貴子

午前9時30分 開議

(略)

○副議長（平田襄二） 御苦労さまでした。

皆さんにお諮りいたします。

暫時休憩しますか、それとも続けてやりますか。

（「続けりやええ」の声あり）

続けて、はい。

（「休憩、休憩」の声あり）

えっ、休憩。

ほんなら、続けてやろうという御意見が多いようですから、続けてやらさせていただきます。

次に、8番桑野和夫議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

まず初めに、子供食堂の開設についてお聞きをします。

子供の貧困が大きな社会問題となっています。直近の調査によりますと、日本の子供の6人に1人が貧困状態にあると言われています。子供の貧困は、表面上は見えにくいのが特徴ですが、浅口市内にも相当数が該当すると思っております。

そうした中、今注目されているのが子供食堂であります。県内を含め、全国各地で開設が相次いでおります。内容ですが、十分に飲食等がとれない子供たちに週に一、二回、健康的な食事を無料または100円から300円という安価で提供するものであり、NPOなどが主体となり実施をされております。

例えば昨年12月にスタートした福岡県久留米市では、調理を担当するのは老人会や福祉施設のボランティアで、食材の一部を近隣の農家から無償で提供してもらい、1食100円で月2回子供たちに食事を振る舞っております。

まず初めに、担当部長とそれから市長に子供食堂についてどう思われるか、お聞きをしたいと思います。

○副議長（平田襄二） ただいまの桑野議員の子供食堂について、担当部長。

高倉部長。

◎健康福祉部長（高倉道雄） 失礼します。

それではまず、子供食堂についてどう思うかということについてお答えしたいと思います。

経済的貧困やひとり親家庭で食事の支度がままならないなど、さまざまな事情を抱えた子供たちに、先ほど100円から300円と言われましたけど、無料というところもあるそうです。無料あるいは低価格で食事を提供する子供食堂が首都圏を中心に今30カ所程度現在できているというふう聞いております。全国的に子供食堂の設置の動きがある中で、浅口市におきましても子供食堂の必要性について研究する必要はあると考えております。

以上です。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それでは、子供食堂についてお答えをさせていただきます。

子供たちの将来が、その生まれ育った家庭の事情に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の

実現を目指す必要があると思います。

国の調査によれば、日本の子供の貧困の状況が先進国の中でも低い水準にありまして、子供たちの将来をより輝かしいものにするためには、子供たちの生活環境を整備するとともに、教育や生活の支援などと一体的に対策を進めていくことが重要であると考えます。

そういったことから、経済的貧困に苦しむ子供たちに温かい食事と相談ができる居場所を提供する子供食堂がボランティアの力で首都圏を中心に広がっていることは意義のあることであるというふうに思っております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） ありがとうございました。

ぜひ浅口市でも実現ができればよいと思います。

そこで、質問ですが、まだまだ不十分だと思うんですけども、国が平成28年度子育て支援の基盤強化の施策を打ち出しています。その中の一つとして、ひとり親家庭への支援策の充実として、子どもの居場所づくりという事業があります。この事業の概要は、保護者の就労により夜遅くまで食事等ができない子供たちに対して食事の提供や学習支援を行う居場所づくりの支援ということで、事業主体が市町村です。それから、補助率は国が2分の1、県が4分の1、市町村が4分の1であります。こうしたものを活用して、浅口市で子供食堂ができないかどうか、担当部長にお聞きをしたいと思います。

○副議長（平田襄二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長（高倉道雄） それでは、国のひとり親家庭への支援を活用して、浅口市として子供食堂を実施してほしいということにつきましてお答えします。

今、議員が説明されたとおり、国のひとり親家庭への支援については、28年度の子供の生活・学習支援事業というのがあります。これは、放課後児童クラブ等の終了後にひとり親家庭の子供に対し、生活習慣の取得それから学習支援や食事の提供等を行うなど、ひとり親家庭の子供たちの居場所づくりを県または市町村が主体となって行う事業でございます。

浅口市が子供食堂を例えば実施する場合を考えますと、どれだけの子供が利用するのか。それから、子供たちのプライバシーの問題、保護の問題、それから地域の理解、支援者の確保、それから施設の衛生面など、さまざまな課題がございます。今後、それらの課題をしっかりと研究するとともに、国やほかの自治体の動向も注視してまいりたいというふうに考えております。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） しっかり他の市町村のことも調べてほしいと思いますが、例えば直営ですぐにということでしたら、市内の団地で実施をする場合に場所の問題等が出てまいります。当然炊事ができる場所が必要であります。例えば金光なら金光総合支所の空きスペースを貸与するとか、あるいは空き家の利用をして開設する場合に何らかの補助ができないかも含めて、さまざまな助成はできないかお聞きをしたいと思います。

○副議長（平田襄二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長（高倉道雄） ただいまの御質問でございますが、他の団体ということで、直営でなくて団体が実施する場合、今浅口市が支援できるかどうかという問題でございますけど、直接的に国、県、それから市町村でそういうところに支援を行っている例はございません。先ほど申しました県や市町村が行う場合の支援はございますが、他の事例を見ますと、例えば基金を積んでそういうものを活用するとか、それからあとはNPO自身がそういう募金を集めてやるのかという事例はあるようでございますが、現在のところ市町村がそういうものに支援をしているという

ことはございません。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 福岡市で2016年度の予算で、子供食堂を運営する7団体に430万円の助成金を盛り込んだというような事例がありますので、そういうことも含めてちょっと検討をお願いしたいと思います。

それで、これから前向きに検討してほしいと思うんですけれども、一部に貧困というのは個人の責任というふうな捉え方をすることがありますけれども、私は、貧困というのは個人だけの問題じゃなく、社会全体の問題というふうな思っております。そして、子供たちに生きる権利を保障する手段の一つとして、子供食堂の果たす役割は重要だと思いますので、ぜひ御検討をお願いして、次の質問に入ります。

次は、用水路の安全対策についてお聞きをします。

県内で用水路に転落する事故が多発をしており、岡山市のほうで対策が実施されようとしております。安心・安全のまちづくりへ、浅口市でも必要な対応を求めたいと思っています。

その上でお聞きしますが、1点目、浅口市内で最近用水路に落ちた事故件数と事故の主な概要、2点目、用水路についての安全対策の現状、それから3点目、今後事故を少なくするための対策、以上、3点についてお聞きをします。

○副議長（平田襄二） 用水路の安全対策についての質問でございます。

企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 失礼いたします。

それでは、用水路の安全対策についてお答えをいたします。

まず、市内の事故件数についてでございます。玉島警察署に照会をいたしましたところ、過去3年——これは25、26、27年でございます——届け出のあった用水路等への転落事故による事故件数は3件でございます。うち1件は、昨年8月に鴨方町地頭上で発生した事故で、1名の方が残念ながら亡くなられておられます。他の2件はいずれも軽傷でございました。ちなみに昨年は、岡山県全体で交通事故による死亡者87名のうち12名が用水路等への転落により亡くなられているということで、全国ワースト1位ということになっております。

続きまして、安全対策の現状でございます。死亡事故があった箇所は、岡山県がデリニエーターといいまして、視線の誘導標というこういった丸っこい棒がついてる誘導標がございます。それを設置しまして、水路との境界を強調させるということで工事を行っております。市でも、毎年各地区や学校のPTAから危険箇所についての改善要望が提出されておりますので、特に学校からの要望については教育委員会が取りまとめ、市の担当部署において玉島警察署と協議を行いながら改善を行っておるという状況でございます。

今後の対策でございます。溝の深い用水路やその付近のT字交差点など、危険と思われる箇所の把握や点検、また各地区や学校からの要望に基づいて、警察や地区と協議を行い、適切に対応していくということになるかと思っております。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） ありがとうございました。

市内にはたくさん水路があり、全ての水路に柵をするなどは財政面からもまた水路そのものの管理面からも困難だと思いますが、ぜひ効果的な対策をとってほしいと思います。市長の見解があればお願いをしたいと思います。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 用水路の安全対策ということでお答えをさせていただきます。

先ほど担当部長が申し上げましたとおり、昨年は岡山県内で用水路に転落した方が亡くなられる事故が多発いたし

ております。浅口市でも昨年1名の方がお亡くなりになりました。市といたしましても、とうとい人命を悲惨な交通事故で失うことのないよう、日ごろからの交通安全啓発に努めるとともに、今後も警察や各地区の御協力をいただきながら、危険箇所の改善に努めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） ぜひ必要な対策をお願いしまして、次の質問に入ります。

次に、合併10周年の検証についてお聞きをします。

私は、平成の大合併の議論が始まったころは、金光町役場のごく普通の職員でありましたが、当時合併について思ったことは、これは住民不在で国の指導によるあめとむちを用いた強引な合併であり、とりわけ吸収合併を余儀なくされる町が疲弊をしなければよいというふうに心配をしていたことを思い出しております。

さて、合併をした浅口市の経過であります。金光町が倉敷市との合併、鴨方町との合併、合併しないという3択での住民投票を行い、結果、鴨方との合併が多数となり、鴨方町と金光町による合併協議会が結成をされました。その後、寄島町も加わり、3町による合併協議会となり、今の浅口市になったというふうに理解をしております。

そこで、市長にお聞きしますが、合併議論のとき栗山市長は岡山県議会議員をされており、浅口市の合併について直接かかわられたわけではありませんが、合併そのものについて一般論としてどうお考えか、まずお聞きをしたいと思えます。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それでは、合併そのものについての感想ということでございます。

人口減少や少子・高齢化社会において、行政サービスの維持向上を図るためには、一定の行政規模を確保し、行政効率を向上させることが必要であろうかと思えます。また、高度情報化など社会情勢が大きく変化中、地方公共団体の提供する行政サービスにもより高い専門性が求められており、これに対応できるよう人材を確保し、組織体制や財政基盤の強化を図っていくためには市町村合併は避けては通れない、つまり生き残りをかけたものであったというふうに考えております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 私は、先ほども言いましたが、この合併は市民の声からでなく、国の指導あるいは国の都合、こういうことで行われたことが問題だと思っております。

次に、浅口市としての合併10年についてどうお考えか、お聞きをしたいと思えます。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 浅口市としての10年についてということでございますが、市制施行10周年を迎えるに当たりまして、これまで御協力、御尽力くださいました市民の皆様を初めとする多くの皆様に対し深く感謝を申し上げます。これまで市民の皆様が合併してよかったと実感していただけるまちづくり、そして3地域の融和による平等で一体的な発展を目指し、高齢者等の福祉の充実、安心・安全なまちづくり、そして地域の活力アップに向けた取り組み、次代を担う子供たちへの投資など、ハード、ソフト両面の取り組みを通じ浅口市発展のための政策を推進してまいりました。

そして、合併10周年の節目といたしまして、平成28年度にはこれまでの取り組みの検証を行い、第2次総合計画を策定するとともに、総合戦略を前進させ、引き続き浅口市の未来を見据えたまちづくりの実現に向け全力で取り組んでまいります。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 私自身は、合併構成として旧3町が合併して浅口市になったことはよかったことだと思っておりますが、これから普通交付税の減額が始まり、いわゆる平成の大合併のあめとむちのむちの部分が始まりますから、これからが大事だと思っております。

財政問題については、次の項目で議論をしたいと思いますが、質問を変えますが、合併10年を迎えますが、市内で水道、ごみ、消防など、まだ統一できてない事務が幾つかあります。こうしたことについてどうお考えかお聞きをします。ただ、水については、先ほども含めて他の議員が質問をし、一定の執行部としての方向を出されておりますので、ごみと消防、それからまだほかに統一できてない主要なものがありましたら答弁をお願いします。

○副議長（平田襄二） 生活環境部長。

◎生活環境部長（原田尚文） 失礼いたします。

ごみに関する事務についてお答えをさせていただきます。

市内のうち、金光の地域から搬出される可燃ごみにつきましては、倉敷市と一部事務組合を構成している倉敷西部清掃施設組合の処理場にて焼却処分を行っております。また、鴨方地域と寄島地域から搬出される可燃ごみにつきましては、笠岡市それから里庄町と一部事務組合を構成しております西部環境の整備施設組合、この処理場にて焼却処分を行っております。これらの焼却場も大変老朽化が進んでおりまして、将来的には建てかえの必要がありますけれども、今後一層の効率的な広域施設の整備を進めるために、平成19年に岡山県が新岡山県ごみ処理広域化計画を策定いたしまして、県下を6つのブロック、これに分けて施設整備を行うべきとの基本方針が示されております。この基本方針では、浅口市は西部ブロックに位置づけられておりまして、笠岡市それから井原市、浅口市、里庄町、矢掛町、この3市2町でございますが、この広域処理に向けて検討を進めているところであります。

今、施設の統一につきましては、施設の延命化工事を行ったばかりでございますが、10年程度先になると思われると思います。大体现段階では平成37年度を予定しております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） それでは、消防の関係が出ましたので、私のほうから答えさせていただきます。

本市の消防に関する事務につきまして、御承知のとおり、鴨方、寄島地区は笠岡の消防組合と、金光地区は倉敷市への事務委託により実施されております。これは、合併時に合併協定の内容に沿って手続をされ、現在に至っております。

この消防事務については、議員おっしゃったとおり、市内の同じ消防に関する事務が2つの形態であるということですが、課題であるということは以前からも認識しております。

現在、市として将来どうあるべきか、現状を踏まえつつ、引き続き事務レベルで基礎的な資料を作成しておりまして、慎重に検討を行っている段階であるということでございます。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 統一についての私の考え方でありますが、もう合併して10年でありまして、そろそろ方向性をきちんと決めるべきだと思っております。そして、その判断の基準は、市として財政的に有利な方向への選択、そして市民の利益が多いほうへの選択をするべきだと思いますが、そのあたりの考え方はいかがでしょうか。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。



◎企画財政部長（秋田裕） 経費、財源という話もございます。今後、28年度からいよいよ交付税も減ってくるという現状の中で、少しでも効率的に、そして市長が今言いました平等ということもでございます。いろんな観点から総合的に考えるということで、28年度は第2次の総合計画も策定するということでもあります。主要事業を中心に、そういう視点でも十分考えていかなければいけないと考えておりますので、御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 合併10年の検証についての最後の質問に移ります。

総合支所についてであります。これについては昨日浅政会の代表が質問され、執行部の答弁もありました。答弁の中心は、行財政懇談会での議論も含めて、新年度で方向性を出していくということでありました。私は、この支所の問題についての考えは、幾らコンパクトな市といえども、地域の拠点である総合支所の機能が縮小されると、地域が疲弊するおそれもありますから、基本的なことは総合支所でできるように人と事務を確保する。そして加えて、地域のまちづくりの拠点になれるよう、そういう体制をとってほしいと思っておりますが、そのあたりの答弁をお願いします。

○副議長（平田襄二） ただいまの総合支所の質問について。

企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 失礼いたします。

10年が経過いたします。交付税もこれから段階的に縮減されるということも、先ほど申し上げたとおりでございます。

昨年度に、本庁、支所のあり方については行財政推進懇談会にも諮問いたしまして、審議も始めておりますが、執行部といたしましても市民サービスを低下させずに、かつ財政負担を残さないということ、そして各職場でさまざまな問題も今出し合っている途中でございます。懇談会で審議する案を作成しているということでございます。

支所の縮小についての市民のいろんな考え方もありますので、市民の声を聞くという姿勢と職員のそれぞれの場所でのしっかりした課題を細かい点まで出し合うということ、そういったことをもとに審議会へ出す案をつくってあるところでございます。今後できるだけ早く審議を進めまして、市民の皆様、議員の皆様へ御理解がいただけるように、懇談会からの答申を受けまして、市の方針の策定に向け一生懸命努力してまいりたいということでもよろしくお願いいたします。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 事務の統一の問題とそれから総合支所の問題等で、市長からの見解があればお願いします。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それでは、統一できてない事務に関してでありますけれども、私は就任以来、旧3町の融和、平等をモットーに合併してよかったと感じていただくことを一番に考えて、さまざまな施策に取り組んでまいりました。この水、ごみ、消防などの事務につきましても、市民の皆様の幸せを一番に考え、浅口市の未来をしっかりと見据えた検討を行ってまいります。今後も、議員の皆様と十分相談しながら進めていきたいと思っております。

続きまして、総合支所の今後についてでございますけれども、支所のあり方につきましては、持続可能なまちづくりを進めていく上で、市民の利便性の確保を図りながら、時代の変化に即した行政組織にしていかなければなりません。どのような形が将来の浅口市にとって最良であるか、しっかりと検討を行いまして、平成28年度中には基本方針を出していきたいと考えております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） それでは、最後の質問に移ります。

普通交付税が来年度から減少することを理由にした市民への負担増、市民へのサービスの低下についてお聞きをしたいと思います。

まず、具体的な内容の確認をしたいと思います。

負担増であります。今定例会に提出されています議案の中に税務関係の証明手数料等を現行150円から300円に引き上げる、それから住民票や印鑑証明等の発行手数料も150円から300円に引き上げる、これは10月の実施であります。負担増になるものはこれ以外に何かありますか、お聞きをします。

○副議長（平田襄二） ただいまの桑野議員の質問に対して。

健康福祉部長。

◎健康福祉部長（高倉道雄） 負担増というふうには考えてないんですが、負担がふえるわけではなくて、今まで敬老会事業というのがございまして……

（8番「それはあとでいいです」の声あり）

よろしいですか。

（8番「はい」の声あり）

○副議長（平田襄二） ほかに。

企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 先ほど手数料という話が出ましたが、そういった条例改正をいたしまして負担増を求めるとするのは、今回提案のこのみでございまして。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） わかりました。

それから、市民サービスの低下の部分であります。先ほど途中切れになりまして申しわけありません。敬老会事業の見直しということで、これまでは地区で敬老会を実施をする場合には、75歳以上の高齢者に1人当たり2,200円の補助をしておりました。また、敬老会はしません、弁当や商品券などの物品を配付している場合には、高齢者1人当たり1,700円の補助をしております。これが現状だと思います。そして、それを今後は、敬老会を実施しないで、商品券などのみを配付している場合は補助金の交付対象にしないと。それから、敬老会を実施している地区に対しては2,200円の補助をしていたものを2,000円に減額するということですね。

それから、土木事業の見直しということで、平成28年度から、地域で作業をしたときの使用料について、主なものですが、草刈り機は時間当たり400円を100円に減額をする。それから、軽四トラックを時間当たり800円を400円にする。敬老会事業の見直しと土木作業の見直しは、これで間違いないかどうかお聞きをします。

○副議長（平田襄二） 健康福祉部長。

◎健康福祉部長（高倉道雄） 失礼します。

先ほど言いかけてみましたが、敬老会事業につきましては、今議員さんがおっしゃられたとおり、現在は敬老会を開催するところにつきましては、お一人2,200円、それから物品等、商品券とかそういうものを配られるところについては1,700円ということで補助を出しておりますが、行財政改革の中でいろいろ補助金等の見直しも考えております。そういう中で、痛みを伴うという言い方はおかしいですけど、財源もなかなか普通交付税の削減とかありますので、お一人2,200円を2,000円、それから物品のみを配っているところには、物品だけを配るのではな



くて、本来の形である敬老会を開いていただいてそういう補助をしていこうというふうに変えていきたいと思っております。

○副議長（平田襄二） 松田産業建設部長。

◎産業建設部長（松田勝久） 草刈り機の借り上げ料の400円が100円、それから軽トラ、800円が400円、間違いございません。草刈り機につきましては、実際に算定基準というのがございまして、機械の損料を算出する基準があります。それは耐用年数ですとか購入価格を加味した上での基準にのっとってその費用を支払わせていただくと、こういうことになります。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 敬老会事業の見直しと土木作業の見直しについては、私の言ったとおりで間違いはないということを確認をしました。

現時点で、これ以外に市民サービスの低下になる部分はありませんか、お聞きをします。

○副議長（平田襄二） 桑野議員の市民サービスの低下について、これ以外ないかという質問ですが。

企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 市民サービスの低下ということについての直接の事業というのは、今の数字的なものあるいは行事的なもの、いろんな考え方があろうかと思いますが、行革の中で行っている一つ一つのこれからの考え方については、行革の懇談会の中でいただいたものをそれぞれの部署で実施し始めているという時期でございます。今後、大きなものや御相談しなくちゃいけない議案等を含めて、しっかり御議論いただくようになりますが、今のところは大きな市民サービス低下につながるものは考えておりません。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 負担増とかサービスの低下については、不適切でないものについては今までどおり実施してほしいというふうを考えております。住民票が安いから浅口市に転入するという方はおられないと思いますけども、安いのも一つの自治体の特徴でありますので、そういう立場で下げないでほしいというふうに私は思っています。

それから、質問を変えますが、今の財政状況についてお聞きをします。

まず、普通交付税の減額についてお聞きをしますが、これは普通交付税の合併算定がえによるもので、平成18年3月に浅口市が合併しております。その後、浅口市が合併後10年は合併しなかったものとして、旧合併市町村ごとの普通交付税の算定をして合算した額と、それから合併市町村一本で算定した普通交付税のいずれか多い額をもって合併市町村の普通交付税とするものでありまして、通常は合併しなかったものとして算定をしたほうが多くなるものでありまして、浅口市も合併後10年間、ですから平成18年度から平成27年度までは多いほうの額が保証されると。そして、その後5年間で段階的に縮減をされるというふうを考えております。

それで、平成33年度からは、今の予定でいくと8億6,000万円が減額になりますが、これは来年度からでなくて、段階的に引き下げられていくということだと思います。8億6,000万円の減額がひとり歩きをして、来年度からすぐに8億6,000万円減額するようと思われる方もいらっしゃると思いますので、来年度以降、順次どれだけ減少していくのかをお答えをお願いします。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） それでは、数字を具体的に申し上げたいと思っております。

まず、28年度、いよいよ来年度から5年間で段階的のという言葉を使ってきましたが、割合としては28年度が

1割削減、29年度が3割削減……

(「ちょっと部長、数字を言うてくれんか」の声あり)

はい。じゃあ、具体的に、その1割が幾らかというのを申し上げます。

まず、28年度が1割削減で9,000万円の減額でございます。約ということでお許しください。次の29年度が3割削減で2億6,000万円、30年度が5割削減で4億3,000万円、31年度が7割削減で6億1,000万円の減額、そして最終年である32年度が7億8,000万円の減額ということで、それが終了して33年度から、今の段階ではですけれども、8億6,000万円がずっと減額のまま続いていくということでございます。5年間の段階的な削減というのは今のような数字でございます。

以上です。

○副議長(平田襄二) 桑野議員、どうぞ。

◆8番(桑野和夫) 次に、合併した市町村が利用できて有利だと言われている合併特例債の借入額の総額と今の残高についてお聞きをします。

○副議長(平田襄二) ただいまの桑野議員の合併特例債の残高について。

企画財政部長。

◎企画財政部長(秋田裕) まず、地方債全体で今272億5,000万円ほどの地方債の合計でございますが、合併特例債で借入れをしている具体的な数字を申し上げますと43億6,140万円ということでございます。よろしいでしょうか。

(8番「残高」の声あり)

26年末の残高は27億4,900万円ほどになるということでございます。

○副議長(平田襄二) 桑野議員、どうぞ。

◆8番(桑野和夫) ですから、合併特例債については約43億円借りて、平成26年度末の残高が27億円ですから、既に16億円返したということですね。その返した16億円については、70%の交付税措置があるということで間違いありませんか。

○副議長(平田襄二) 企画財政部長。

◎企画財政部長(秋田裕) はい、合併特例債の普通交付税の措置は70%でございます。

以上です。

○副議長(平田襄二) 桑野議員、どうぞ。

◆8番(桑野和夫) 次に、自治体の財政を推しはかる上で重要だと言われております財政の4指標の説明と4指標の浅口市の数値、そしてその数値は一般的にどのような水準であるのかを説明をお願いします。

それから加えて、平成27年度末の財政調整基金の残額の見込みについてお聞きをします。

○副議長(平田襄二) 企画財政部長。

◎企画財政部長(秋田裕) それでは、健全化判断比率というものが国で決まっておりますそれを26年度の決算の数値に基づいて申し上げます。

浅口市は、実質赤字比率及び連結赤字比率、これはともにありません。また、実質公債費率、これは11.5%でございます。もう一つの将来負担比率、これは29.2%でございます。この数字というのは、早期健全化措置が要求される基準値を大幅に下回っているということで、総合的に考えますと、国の示す安全基準をクリアをしているという数字でございます。

それと、財政調整基金の話でございましたが、26年度末の数字でございますが、基金現在高は約47億1,50

0万円あるということでございます。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 財政調整基金の額ですが、26年度末で47億円で、今年度は予算上1億5,000万円崩して、予算書を見ると4億6,000万円は基金に積み見込みなので、3億1,000万円はふえて約50億円になるということでしょうか。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） はい、新しい年度の予算として考えると、そういうことでございます。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） いろいろお聞きしましたが、確かに今後普通交付税が減額をされ、財政的に苦しくなるのは確かであります。そして、財政上支障を来さないために、先に手を打つということも理解できないこともありません。しかし、交付税の減額は、先ほど示していただきましたように、段階的でありまして、来年度は約9,000万円あります。

それから、借りた合併特例債のうち、既に3分の1以上は返しており、そして返したお金についての70%は交付税措置が受けられます。そしてさらに、財政の4指標はおおむね健全であるということでありました。

また、財政調整基金の残高は今年度末で約50億円になります。この財政調整基金であります。近隣の市の残高を調べてみました。いずれも27年度末の見込みであります。笠岡市で約16億7,000万円、そして高梁市が27億5,000万円、井原市が64億7,000万円、こういうことありまして、浅口市はまずまずためているということになると思います。

ということで、いろいろ考えて、今の段階で市民への負担増やサービスの低下はほしくないと思いますが、そのあたりいかがお考えでしょうか。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 議員さん、財調の金額を、他市の事例を参考に言われましたり、今までの借金のあり方、今後の数字のあり方についても総合的に把握をしていただいております。

私ども財政部局といたしましても、今回の当初予算でかなり厳しい査定をさせていただいております。なぜかという話になりますと、やはり交付税が削減されるというこの8億6,000万円というのは、もう目の前に来て、もうすぐ行動に移さなくては5年、6年後、ずっと8.6億円が続いていくという状況がもう目に見えている中で、何か行動に移すということの姿勢を示さなくちゃいけないと。市を取り巻く環境というのは、やはり少子化で人口が減って税収も下がっていくということや今後の保健や福祉、特に教育なども含めて、行政課題の対応が多岐にわたっているということ、そして財政見通しを考えますと、どうしても扶助費と修繕費というのは莫大にかかっていき、下がることはありません。特にそういったものの推計を十分しながら、我々は先を見て予測をしながら現時点の予算を組んでるわけございまして、しかしながらそういった中で市民サービスの大きな低下や主要事業というのございまして。そういった今後の主要事業も一つ一つ確認しながら、今現在予算はどうあるべきかというのを、市長の査定も含めて組んでおりますので、全く何も動かずにこのまま続くというのが一番いいかもわかりませんが、時代がそうではないということ、私たちのほうとしても行革懇とともに現状認識をしていただいて、市民に参加していただいとる生の声もお聞きし、順番にできることからやっということとさせていただきます。大変厳しいこととなりますけれども、いよいよ28年度からそういった現実が起ってくるということの姿勢を少し申し上げさせてもらいましたが、

そういった節減できるお金というのは、やはり次の時代への投資だというようなことも考えておりますので、御理解を賜ればと思います。よろしく申し上げます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 私は、市民への痛みを与える前に、行政として徹底した効率化を図ること、そしてまた大型公共事業の見直しも含めて、その辺をしっかりと先にするべきだと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 大型の事業についてのことでございます。市では、これまでも普通交付税の合併算定がえの終了後を見据えまして、自主財源の確保のための積極的な企業誘致や定住促進の事業のほか、地方債の繰上償還、そして基金の積み立てなどを計画的に行ってまいりました。

また、23年度に策定した第2次の行革大綱というのがございますが、そこでは行政経営という視点も持って、先ほど議員さんが言われました事務事業の見直しや組織の改革、そして浅口市としての市民協働のまちづくり、こういった新しい視点、そして積極的な行財政改革による行政の効率化を行革プランによって一つ一つ実行してきております。

今後、状況の悪化によりまして、行政サービスの停滞や低下を招かないためには、市民の皆様そして地域のさまざまな主体と行政が協働して公共を担う仕組みというのをつくっていかなくてはいけないと思いますし、今まで以上に経費削減の取り組みを徹底しまして、業務の必要性や効率をよく検討して各事業の計画的な推進を図り、財源の使い道を決めていくことが必要と考えております。

また、大型事業としては、公共施設の耐震化事業がまだございます。金光駅の周辺の整備事業、そして工業団地の造成事業が今始まっておりますが、そういったものも引き続き来年度も行われます。市の財政というのは先ほど申し上げたとおりでございますが、厳しくならないというわけではなくて、やっぱり厳しくなるという現実がございますので、財政規律の確保を図りながら事業を実践させていく上において、特に緊急性とあとは財源、そして将来的な資金の収支、これを十分勘案しまして、まずは優先順位をつけて計画的に事業を行うということを考えていきたいと思っております。

そして、いろんな事業の見直しや効率化、こういったことをするのは当然なんですけど、やはり歳入に見合った歳出というのが必要ですので、これの対策に引き続き積極的に取り組みまして、将来にわたり持続可能な財政運営に努めていきたいということを思っております。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 私は、根本的には、国による地方への交付税の減額などの影響で地方財政が厳しくなっていると思っております。こういう中で、よくもまあ地方創生などと言うもんだというふうに思っておりますけども、ということでしっかり国に対しては意見を言い、国の責任で地方財政を充実させるよう求めてほしいと思っておりますが、答弁をお願いします。

○副議長（平田襄二） 企画財政部長。

◎企画財政部長（秋田裕） 国に対してきちんと意見を言うということ、国の責任で地方財政を充実させるよう求めることについての御質問でございます。

市では、国への要望活動の一つといたしまして、全国市長会を通じた提言や要請を行っております。本市からの要望は、岡山県の市長会が取りまとめまして、中国市長会そして全国市長会へと上げられていきます。全国市長会では、審議・採択した各支部からの提出議案を重点提言として取りまとめ、同会議で決定した決議とあわせて国会議員や関

係府省等への提出をし、その実現について要請をしております。本市でも、県市長会等との連携を一層深めてまいりたいと考えております。

以上です。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 市民への負担増やサービスの低下について、市長の見解があればお願いいたします。

○副議長（平田襄二） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それでは、普通交付税の減少による影響等についてお答えをさせていただきます。

先ほど担当部長から、財政状況等については、申し上げましたとおり、現在本市の財政状況につきましてはおおむね健全な数値を維持できておりますけれども、地方交付税の減額等により今後の財政見通しは大変厳しい状況が見込まれております。市では、これまでも行政経営という視点を持って行政の効率化を推進してまいりました。今後、計画される事業につきましても、議会の皆様と相談させていただきながら、緊急性、そして財源、将来的な資金収支等を十分勘案し、計画的に行う必要があると考えております。

また、本市は、国への要望活動の一つといたしまして、全国市長会を通じた提言、要請を行っております。平成27年度は、安定的な地方財政運営の確保等に関する提言、そして地方交付税の総額の確保に関する提言等、地方財政の充実について全国市長会より国に要請いたしました。今後とも、地方自治体の安定財源確保に向け、引き続き市長会とともに国に強く要望してまいります。

そして、行財政改革をしっかりと推し進め、市民の皆様から御負担をいただくこともありますけれども、その貴重な財源は浅口市の未来を担う子供たちへの投資や今後需要が拡大していく高齢者福祉のために大切にしていきたいと考えております。

以上でございます。

○副議長（平田襄二） 桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 余り財政が厳しいと言うと、市民がもう要望ができない、要望してはいけないというふうな気持ちになってくるんで、それはまずいと思いますので、その辺はよくお考えをお願いしたいと思います。

地方自治法には、自治体の使命が決められております。住民の安全を守ること、健康を守ること、そして福祉を守ること、これが自治体の第一の使命であります。たとえ国がやらなくても、そして採算が合わなくても、住民福祉のために必要な仕事をやってこそ自治体だと思っております。そういう意味からいうと、今回の市民への負担の増、市民サービスの低下は問題があることを重ねて強調して、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（平田襄二） 御苦勞さまでした。

皆さんにちょっとお諮りします。

ここで休憩とし、再開は午後1時からとしてよろしいですか。

（「切りが悪い」「やりやあええ、続けてやりやあええが」「本人がやる言うけえやりねえ」

の声あり）

執行部、よろしいか。

（「おい、議長せえ、ええからしなさい」「いらいらしていけんが」「御飯食べようや」の声

あり）

それじゃあ、ここで一応休憩として、再開……

（「意見が多いほうにね」「そりやあ飯食いに行くもんは行きやあええが」の声あり）

そういうわけにもいかんでしょう。



（「原さんやるようが」「本人がする言ようんじゃけええが」「1時半じゃ言うたんね」  
の声あり）

休憩とし、午後1時から再開とします。

午後0時03分 休憩

午後0時58分 再開

## 平成28年第1回 3月定例会 - 03月09日 - 04号

平成28年3月浅口市議会第1回定例会会議録（第4）

1. 招集年月日 平成28年3月9日（9日目）

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 3月9日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 一般質問

第2 議案質疑

同意第 1号 教育長の任命につき同意を求めることについて（討論・採決）

同意第 2号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（討論・採決）

同意第 3号 益坂財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて（討論・採決）

議案第 1号 浅口市行政不服等審査会条例の制定について

議案第 2号 京セラTCL学力向上教育基金条例の制定について

議案第 3号 浅口市地域福祉計画策定委員会条例の制定について

議案第 4号 浅口市消費生活センター条例の制定について

議案第 5号 浅口市空家等対策審査会条例の制定について

議案第 6号 浅口市行政手続条例の一部を改正する条例について

議案第 7号 浅口市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

議案第 8号 浅口市職員の定数に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 9号 浅口市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

議案第10号 浅口市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第11号 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第12号 浅口市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び浅口市教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について

議案第13号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

議案第14号 浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

議案第15号 浅口市税条例等の一部を改正する条例について

議案第16号 浅口市手数料条例の一部を改正する条例について



議案第17号 浅口市税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例について

議案第18号 浅口市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第19号 浅口市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第20号 浅口市公共下水道条例の一部を改正する条例について

議案第21号 モーターボート競走の施行について

議案第22号 平成27年度浅口市一般会計補正予算（第4号）

議案第23号 平成27年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第24号 平成27年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第25号 平成27年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第4号）

議案第26号 平成27年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第27号 平成27年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算（第4号）

議案第28号 平成27年度浅口市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第29号 平成28年度浅口市一般会計予算

議案第30号 平成28年度浅口市国民健康保険特別会計予算

議案第31号 平成28年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

議案第32号 平成28年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

議案第33号 平成28年度浅口市介護保険特別会計予算

議案第34号 平成28年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

議案第35号 平成28年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算

議案第36号 平成28年度益坂財産区特別会計予算

議案第37号 平成28年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算

議案第38号 平成28年度浅口市水道事業会計予算

議案第39号 指定管理者の指定について

議案第40号 指定管理者の指定について

議案第41号 浅口市過疎地域自立促進市町村計画の策定について

議案第42号 市道路線の認定について

議案第43号 市道路線の変更について

報告第1号 長期継続契約の締結状況について

諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（討論・採決）

### 第3 委員会付託（付託表のとおり）

#### 1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 一般質問

日程第2 議案質疑

同意第1号 教育長の任命につき同意を求めることについて（討論・採決）

（ 同 意 ）

同意第 2号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（討論・採決）

（ 〃 ）

同意第 3号 益坂財産区管理委員会委員の選任につき同意を求めることについて（討論・採決）

（ 〃 ）

議案第 1号 浅口市行政不服等審査会条例の制定について

（委員会付託）

議案第 2号 京セラTCL学力向上教育基金条例の制定について

（委員会付託）

議案第 3号 浅口市地域福祉計画策定委員会条例の制定について

（ 〃 ）

議案第 4号 浅口市消費生活センター条例の制定について

（ 〃 ）

議案第 5号 浅口市空家等対策審査会条例の制定について

（ 〃 ）

議案第 6号 浅口市行政手続条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 7号 浅口市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 8号 浅口市職員の定数に関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第 9号 浅口市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第10号 浅口市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第11号 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第12号 浅口市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び浅口市教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第13号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第14号 浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

（委員会付託）

議案第15号 浅口市税条例等の一部を改正する条例について

（ 〃 ）

議案第16号 浅口市手数料条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第17号 浅口市税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第18号 浅口市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第19号 浅口市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第20号 浅口市公共下水道条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第21号 モーターボート競走の施行について ( 〃 )

議案第22号 平成27年度浅口市一般会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第23号 平成27年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

( 〃 )

議案第24号 平成27年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第25号 平成27年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第26号 平成27年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(委員会付託)

議案第27号 平成27年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第28号 平成27年度浅口市水道事業会計補正予算(第2号)

( 〃 )

議案第29号 平成28年度浅口市一般会計予算 ( 〃 )

議案第30号 平成28年度浅口市国民健康保険特別会計予算

( 〃 )

議案第31号 平成28年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

( 〃 )

議案第32号 平成28年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

( 〃 )

議案第33号 平成28年度浅口市介護保険特別会計予算

( 〃 )

議案第34号 平成28年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

( 〃 )

- 議案第35号 平成28年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算  
( 〃 )
- 議案第36号 平成28年度益坂財産区特別会計予算 ( 〃 )
- 議案第37号 平成28年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算  
( 〃 )
- 議案第38号 平成28年度浅口市水道事業会計予算 ( 〃 )
- 議案第39号 指定管理者の指定について ( 〃 )
- 議案第40号 指定管理者の指定について ( 〃 )
- 議案第41号 浅口市過疎地域自立促進市町村計画の策定について  
( 〃 )
- 議案第42号 市道路線の認定について ( 〃 )
- 議案第43号 市道路線の変更について ( 〃 )
- 報告第1号 長期継続契約の締結状況について ( 議 了 )
- 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて ( 討 論 ・ 採 決 )  
( 適 任 )

日程第3 委員会付託 (付託表のとおり)

1. 出席議員 (4番欠番)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1番 福田 玄    | 2番 伊澤 誠   |
| 3番 佐藤 正人   | 5番 竹本 幸久  |
| 6番 岡邊 正継   | 7番 平田 襄二  |
| 8番 桑野 和夫   | 9番 加藤 淳二  |
| 10番 原 彰    | 11番 中西 美治 |
| 12番 柚木 毅   | 13番 藤澤 健  |
| 14番 青木 光朗  | 15番 大西 恒夫 |
| 16番 田口 桂一郎 | 17番 香取 良勝 |
| 18番 井上 邦男  | 19番 大西 洋平 |

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名 (1名)

6番 岡邊 正継

1. 欠席議員 (なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| 市長      | 栗山 康彦 | 副市長     | 田村 諭  |
| 教育長     | 中野 留美 | 企画財政部長  | 秋田 裕  |
| 生活環境部長  | 原田 尚文 | 健康福祉部長  | 高倉 道雄 |
| 産業建設部長  | 松田 勝久 | 上下水道部長  | 垣内 長  |
| 金光総合支所長 | 小西 通夫 | 寄島総合支所長 | 大室 清  |
| 教育次長    | 櫛田 忠  | 会計管理者   | 畑 良典  |
| 総務課長    | 笠原 浩一 |         |       |

1. 出席した事務局職員

議事事務局長 畝山善生 書記 園部 智  
書記 小橋史明 書記 奥原貴子

午前9時30分 開議

(略)

○議長（田口桂一郎） これで質疑を終わります。

議案第3号浅口市地域福祉計画策定委員会条例の制定についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

質疑あり。

桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） この条例の第2条に委員会の所掌事務は次のとおりとするとあって、1、計画の策定に関する  
こととありますが、どういうものをつくるのか、それから何年計画のものをつくられるのかお聞きをしたいと思いま  
す。

○議長（田口桂一郎） 健康福祉部長、どうぞ。

◎健康福祉部長（高倉道雄） 失礼します。

それでは、浅口市地域福祉計画策定委員会条例につきましてお答えをいたします。

地域福祉計画は社会福祉法第107条の規定によりまして、市町村は地域福祉の推進に関する事項として、1、地  
域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項、2、地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発  
達に関する事項、3、地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項、この3つのことを一体的に定める  
地域福祉計画を策定し、その内容を公表するものでございます。

今まで浅口市では、最上位計画であります地域総合計画の後期計画に基づきまして先ほど申し上げた事項を実施し  
てまいりましたが、このたび次期浅口市総合計画を作成することに合わせて、地域福祉計画も策定を行いたいとい  
ふふうに考えております。

以上でございます。

◆8番（桑野和夫） 2項目質問をさせていただきます。

まず、1項目め、一般会計の47ページです。

総務費の徴税費の委託料の中の原付オリジナルナンバープレートの委託料で86万4,000円とあります。これ  
は、新しいプレートをつくるためであって、これをもしつけない場合は予算が発生しないのかどうか、まずお聞き  
したいと思います。

◆8番（桑野和夫） 私がお聞きしたのは、総額はわかりますけども、このプレートをつくらなかった場合には、予  
算は発生しないのかどうかということをお聞きしたんです。

それで、もう2回目なんで、今のプレートの在庫は幾らあるんか。

◆8番（桑野和夫） 今の在庫が83枚なのでちょうどタイミング的にはいいということになるんでしょうけども、  
プレートをつくって、バイクですから余りこのバイクで市外に行く可能性は少ないですし、PRの点ではどうかとい  
う点と。それから、浅口のこのプレートが欲しいから転入をするという人もほぼいないだろうけども、その辺のメリ  
ットというのはどういうふうを考えられるかお聞きします。

◆8番(桑野和夫) 水道の議論になりますが、私は別に執行部の肩を持つわけではありませんが、この問題については、全協の話が出たんだと思いますけども、全協で執行部が説明をし、その後産建の委員会でも議論をしました。そのときには基本的には議員の皆さんは特別な反対意見もなく、それからいろんな意見もそうありませんでした。そういうことをもって執行部は今度の予算も組み、出し、それから倉敷市にも話をし、西南水道企業団や笠岡市にも話をしたと思うんで、そういうのは多少手続的には瑕疵はなくて、今いろんな議論をするのが多少私はおかしいんではないかというふうな気持ちを持っていますので、私の意見として言わせてもらいます。

## 平成28年第1回 3月定例会 - 03月17日 - 05号

平成28年3月浅口市議会第1回定例会会議録(第5)

1. 招集年月日 平成28年3月17日(17日目)

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 3月17日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 議案の訂正について

第2 委員長報告(質疑)

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

第3 議案討論・採決

議案第1号 浅口市行政不服等審査会条例の制定について

議案第2号 京セラTCL学力向上教育基金条例の制定について

議案第3号 浅口市地域福祉計画策定委員会条例の制定について

議案第4号 浅口市消費生活センター条例の制定について

議案第5号 浅口市空家等対策審査会条例の制定について

議案第6号 浅口市行政手続条例の一部を改正する条例について

議案第7号 浅口市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

議案第8号 浅口市職員の定数に関する条例の一部を改正する条例について

議案第9号 浅口市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

議案第10号 浅口市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第11号 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第12号 浅口市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について

議案第13号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

議案第14号 浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について



議案第15号 浅口市税条例等の一部を改正する条例について

議案第16号 浅口市手数料条例の一部を改正する条例について

議案第17号 浅口市税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例について

議案第18号 浅口市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第19号 浅口市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第20号 浅口市公共下水道条例の一部を改正する条例について

議案第21号 モーターボート競走の施行について

議案第22号 平成27年度浅口市一般会計補正予算（第4号）

議案第23号 平成27年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第24号 平成27年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第25号 平成27年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第4号）

議案第26号 平成27年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第27号 平成27年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算（第4号）

議案第28号 平成27年度浅口市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第29号 平成28年度浅口市一般会計予算

議案第30号 平成28年度浅口市国民健康保険特別会計予算

議案第31号 平成28年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

議案第32号 平成28年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

議案第33号 平成28年度浅口市介護保険特別会計予算

議案第34号 平成28年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

議案第35号 平成28年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算

議案第36号 平成28年度益坂財産区特別会計予算

議案第37号 平成28年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算

議案第38号 平成28年度浅口市水道事業会計予算

議案第39号 指定管理者の指定について

議案第40号 指定管理者の指定について

議案第41号 浅口市過疎地域自立促進市町村計画の策定について

議案第42号 市道路線の認定について

議案第43号 市道路線の変更について

#### 第4 閉会中の委員会継続事件の申し出について

##### 1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 議案の訂正について

日程第2 委員長報告（質疑）

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

日程第3 議案討論・採決

議案第 1号 浅口市行政不服等審査会条例の制定について

( 原案可決 )

議案第 2号 京セラTCL学力向上教育基金条例の制定について

( 〃 )

議案第 3号 浅口市地域福祉計画策定委員会条例の制定について

( 〃 )

議案第 4号 浅口市消費生活センター条例の制定について

( 〃 )

議案第 5号 浅口市空家等対策審査会条例の制定について

( 〃 )

議案第 6号 浅口市行政手続条例の一部を改正する条例について

( 原案可決 )

議案第 7号 浅口市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第 8号 浅口市職員の定数に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第 9号 浅口市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第10号 浅口市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第11号 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第12号 浅口市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第13号 浅口市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第14号 浅口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第15号 浅口市税条例等の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第16号 浅口市手数料条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第17号 浅口市税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例について

( 原案可決 )

議案第18号 浅口市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第19号 浅口市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第20号 浅口市公共下水道条例の一部を改正する条例について

( 〃 )

議案第21号 モーターボート競走の施行について ( 〃 )

議案第22号 平成27年度浅口市一般会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第23号 平成27年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

( 〃 )

議案第24号 平成27年度浅口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第25号 平成27年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第26号 平成27年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

( 〃 )

議案第27号 平成27年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第4号)

( 〃 )

議案第28号 平成27年度浅口市水道事業会計補正予算(第2号)

( 〃 )

議案第29号 平成28年度浅口市一般会計予算 ( 〃 )

議案第30号 平成28年度浅口市国民健康保険特別会計予算

( 原案可決 )

議案第31号 平成28年度浅口市後期高齢者医療特別会計予算

( 〃 )

議案第32号 平成28年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

( 〃 )

議案第33号 平成28年度浅口市介護保険特別会計予算

( 〃 )

議案第34号 平成28年度浅口市公共下水道事業特別会計予算

( 〃 )

議案第35号 平成28年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計予算

( 〃 )

議案第36号 平成28年度益坂財産区特別会計予算 ( 〃 )

議案第37号 平成28年度浅口市工業団地開発事業特別会計予算  
( 〃 )

議案第38号 平成28年度浅口市水道事業会計予算 ( 〃 )

議案第39号 指定管理者の指定について ( 〃 )

議案第40号 指定管理者の指定について ( 〃 )

議案第41号 浅口市過疎地域自立促進市町村計画の策定について  
( 〃 )

議案第42号 市道路線の認定について ( 〃 )

議案第43号 市道路線の変更について ( 〃 )

日程第4 閉会中の委員会継続事件の申し出について ( 継続事件 )

1. 出席議員 (4番欠番)

1番 福田 玄	2番 伊澤 誠
3番 佐藤 正人	5番 竹本 幸久
6番 岡邊 正継	7番 平田 襄二
8番 桑野 和夫	9番 加藤 淳二
10番 原 彰	11番 中西 美治
12番 柚木 毅	13番 藤澤 健
14番 青木 光朗	15番 大西 恒夫
16番 田口 桂一郎	17番 香取 良勝
18番 井上 邦男	19番 大西洋 平

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名 (なし)

1. 欠席議員 (なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

市長	栗山 康彦	副市長	田村 諭
教育長	中野 留美	企画財政部長	秋田 裕
生活環境部長	原田 尚文	健康福祉部長	高倉 道雄
産業建設部長	松田 勝久	上下水道部長	垣内 長
金光総合支所長	小西 通夫	寄島総合支所長	大室 清
教育次長	櫛田 忠	会計管理者	畑 良典
総務課長	笠原 浩一		

1. 出席した事務局職員

議会事務局長	畝山 善生	書記	園部 智
書記	小橋 史明	書記	奥原 貴子

午前9時30分 開議

(略)

○議長（田口桂一郎） 御異議なしと認めます。よって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

議案第15号浅口市税条例等の一部を改正する条例についての討論を行います。

討論の希望はありませんか。

はい、あり。

桑野議員、どうぞ。

◆8番（桑野和夫） 浅口市税条例等の一部を改正する条例について反対の立場で討論に参加をいたします。

反対する箇所は、この改正の第1条にあります税務関係の証明書等の発行手数料などの引き上げについてであります。

反対する理由の一つは、市民の皆さんの暮らしとの関係であります。今、アベノミクスは庶民の暮らしを直撃し、金利は下がり、物価は上がる一方であります。加えて、消費税の増税が重くのしかかり、介護保険料の増額に引き続き、新年度からの後期高齢者医療保険制度の保険料は均等割だけで2,900円引き上げられ、4万9,200円になります。もう暮らしが大変、これは市民の実感であります。こうした中での手数料の引き上げであります。市民の暮らしを守るという立場に立てば、引き上げを中止をするべきであります。

反対する理由の2つ目は、企業と市民とのサービスのバランスの問題であります。新年度の予算書を見ますと、例えば企業立地奨励金ということで1つの企業に1,893万円の奨励金を支出をする。さらに、地域総合整備資金貸付金ということで民間が老健施設を建設するに当たりふるさと財団の決定を受け、浅口市が金融機関から借りたお金を10億円無利子で融資し、金融機関に払う利息は浅口市が払い、そのうち75%分は交付税措置があるというものであります。また、今後、工業団地に来る企業にも奨励金と補助金が支出をされ、加えて税法上の優遇措置として3年間は償却資産を除く固定資産税が免除をされます。優遇しなければ企業が来ないという自治体間の誘致合戦の弊害がここにあらわれているということでありましょうが、余りにも企業には優遇、市民には痛みという図式になることから、引き上げの中止を求めるものであります。

こうした立場から今回の条例改正には反対をします。皆々様の御賛同をお願いをしまして、反対討論といたします。

○議長（田口桂一郎） ただいま桑野議員から反対の討論でございました。

次に、本案に賛成の方の発言を許します。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕